

建築学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 建築の学術、技術および芸術に関する基礎的な知識や素養を身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

建築の数学、建築の物理学、建築概論、建築図学、基礎製図、建築情報処理演習、造形演習、建築史・意匠など

【到達度】

- ① 数学や物理などの自然科学系の基礎的な知識を身に付けている。
- ② 建築の安全性や機能性に関する基本的な素養を身に付けている。
- ③ 建築の図法や設計製図に関する基礎的な技能を身に付けている。

【測定方法】

- ①と②は、レポートおよび筆記試験などにより、確認する。
- ③は、建築の立体的な空間把握に関する図法などの成果物により、確認する。

【到達目標】

2. 建築の計画、環境、構造、材料に関する基本的な専門知識が理解できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

建築計画、建築環境工学、建築設備、建築構法、建築構造力学、建築材料、建築生産、建築に関する実験・演習・実習など

【到達度】

- ① 住宅などの各種建築物を設計計画するための専門知識を身に付けている。
- ② 建築の環境・設備に関する物理的性質や社会的なニーズを理解している。
- ③ 建築の構造を理解し、その安全性について力学的な把握ができる。
- ④ 建築材料、建築生産に関する実践的な知識および素養を身に付けている。
- ⑤ 建築に関する実験などを通して、建築を構成する要素の特性を理解している。

【測定方法】

- ①～④は、レポートおよび筆記試験などにより、確認する。
- ⑤は、実験のレポートや取り組み状況などにより、確認する。

【到達目標】

3. 生活環境の安全・安心、公共の福祉などの視点から建築を考えることができる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

都市計画、地域計画、建築法規、建築倫理、建築企画、建築のマネジメントなど

【到達度】

- ① 生活環境の安全・安心、快適性に配慮する知識や素養を身に付けている。
- ② 都市や地域の計画において公共の福祉に貢献する素養を身に付けている。
- ③ 法令の主旨、技術者倫理を理解して建築に取り組むことができる。
- ④ 地球環境や都市・地域社会と関連付けて建築のマネジメントを理解している。

【測定方法】

①～④は、レポートおよび筆記試験などにより、確認する。さらに②と④は、ワークショップなどにより、確認する。

【到達目標】

4. 建築分野における体系的な知識や技能をもとにして、自ら建築作品や卒業研究などの成果物としてまとめられる素養を身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

建築設計、建築ゼミナール、卒業研究(卒業論文・卒業設計)など

【到達度】

- ① 建築の設計課題に対して、自ら企画立案して建築作品にまとめられる。
- ② 建築の課題研究において、自ら問題意識を持って取り組むことができる。
- ③ 建築分野の包括的な学習によって得た専門知識や技能を活用して卒業研究にまとめ、その成果を発表することができる。

【測定方法】

- ①と②は、設計課題で制作された図面や模型などの成果物および発表により確認する。
- ③は、提出された卒業論文や卒業設計の成果物および発表により、確認する。なお、外部評価などにより確認することが望ましい。